令和6年度授業評価アンケート結果に基づく 令和7年度の授業改善計画報告書

令和6年度授業評価 アンケート結果について	非常に不満	不満	普通	満足	非常に満足	その他
	0%	0%	43%	48%	9%	0%

	全くできなかった	できなかった	どちらでもない	出来た	よく出来た	その他
シラバスに基づいた授業展開	0%	2%	11%	57%	30%	0%
シラバスに記載したCP, DPの対応	0%	0%	9%	63%	28%	0%
来年度に向けた改善点の抽出	0%	0%	9%	67%	24%	0%

令和6年度授業評価 アンケート結果による 自己評価(抜粋)	学生のレベルやニーズに応じ、シラバスの変更を余儀なくされ、当初のシラバスに基づいた授業展開できない科目があった。学生の傾向を知り、改善に努めたい。
	概ね充実した授業を実施できた。一部、課題の提出方法において、期限外の提出が見受けられたため、次年度はオリエンテーションにて、課題と成績が結びついていることを明確にしたい。
	事前に予定していた授業計画は、概ね達成できたと考えている。しかしアンケートを精査すると、見落とししている点も散見された。学生からの意見をしっかりと受け止め、今後さらに授業内容を深め、より分かりやすい授業を進めていきたいと考えている。
	令和6年度よりも必修科目の満足度は向上しているように思われるが、依然としてコース専門科目の方が学生の満足度が高かった。専門科目の満足度が高いことについては安堵しているが、必修科目の満足度も同じように上げられるようにしたい。昨年度から改善したグループワークの導入回数の増加などについては、評価するコメントがあったため、次年度も実施回数や方法をさらに工夫して満足度を上げていきたい。
	令和5年度より改善。令和7年度はさらなる改善を目指す。

令和7年度に向けて、 授業改善を行いたい項目 (複数選択可)	授業計画(シラバス内容)	教材の開発	授業の準備	教授法	成績評価	クラスルームの活用
	26%	43%	37%	52%	7%	7%
	その他(最新情報の取り入れ、アクティブラーニングなど)					
	17%					

令和7年度の授業改善計画 (抜粋)	人数の多い授業において私語を少なくする方法を考えたい。グループワークが苦手な学生に対する対応を工夫したい。他学部ではグループワークを入れないよう指導される学部もあると聞いているが、グループワークな苦手な学生に対する対応をしっかりと行いながら、グループワークを実施していきたい。
	昨年度に引き続き、学生が積極的に参加・質問しやすい環境づくりを重視し、オンラインツールの活用やグループワークの充実(学生同士の議論や協働の促進)を通じて、より効果的な学習支援を行いたいと考えている。
	テキストとPPTを効果的に活用したい。
	学生が自らの成長や到達度をより意識できるような授業展開をめざしていく。
	令和7年度も教授法に力を入れて、どのような学びが学生さんの力として身につくのかを探りながら、学生さんが主体的に学べるようにしていきたいと考えている。